

令和5年4月20日

一般社団法人大分学研究会
社員並びに会員の皆さまへ

一般社団法人大分学研究会
代表理事兼事務局長 檜本 譲司

「大分学研究会」第72回例会について

新しい年度を迎え、会員の皆さまには気分を新たにお過ごしのことと存じます。ゴールデンウィークを明けると、新型コロナの感染症法上の位置付けがインフルエンザと同じ5類相当に引き下げられ、コロナ禍前の状況にほぼ完全に帰ると思います。

さて、当研究会12年目の最後の標記例会は、宇佐神宮を特集します。宇佐の文化財を守る会の小倉正五会員が「宇佐八幡と弥勒寺～神仏習合の曙を考える」をテーマに基調発表を行います。今回の会場はコンパルホール4階の視聴覚室です。オンラインでも配信しますが、コロナ禍前の状況に帰ることからできるだけ会場でのご出席をお勧めします。

つきましては、会員だよりの希望を含めて出欠の有無を令和5年5月22日(月)までに必ず別添要領によりメールまたはFAXにて事務局までご回答をお願いします。なお、懇親・交流会についてもコロナ禍前の通常どおり開催しますので、ぜひご参加ください。

【事務連絡】

1. 今回の会場は、最大60名まで対応できます。
2. リモート未経験の会員は、事前に事務局とZOOMの環境について調整しますので、早めにご連絡ください。
3. ZOOMシステムを使用し、事務局からの招待で入室し、退出は自由
4. 終了後の懇親・交流会は、中央町の「澤家」を予定しています。

【事務局】E-mail: oitagaku@gmail.com 電話: 080-8573-6130

大分学研究会 第72回例会

日時：令和5年5月27日（土）14：00～16：20

場所：コンパルホール4階視聴覚室（大分市府内町）
リモート（ZOOM配信）も実施予定

【テーマ】 宇佐八幡と弥勒寺～神仏習合の曙を考える

1. 基調発表 14：00～15：20
 - ・内 容：宇佐八幡と弥勒寺について
 - ・発表者：小倉正五会員（宇佐の文化財を守る会会長）

2. 関連発表 15：20～15：35
 - ・宇佐八幡と弥勒寺に関することに限る
 - ・希望する会員2～3名

3. 意見交換 15：35～15：55
 - ・基調発表者と出席者との質疑・意見交換

4. まとめ 15：55～16：00
 - ・総括

5. 会員だより 16：00～16：15
 - ・希望する会員3～4名程度

6. 事務局報告 16：15～16：20

7. 閉会 16：20

【懇親・交流会】

会 場：「澤家」（大分市中央町）

※すべてテーブル席での対応です。

参加費：6,000円（税込、大分学研究会特別メニュー、フリードリンク）

時 間：17：30～

定 員：16名程度（新型コロナの感染症上の対応緩和に伴い柔軟に対応）

※基調発表者も参加予定です。例会時に話せなかったことも対応可能です。

E-mail : oitagaku@gmail.com

FAX : 097-538-9724

大分学研究会第72回例会(令和5年5月27日・土曜日開催)に

出席する

※リモート参加をご希望の会員は、以下に○をつけてください。

リモート参加希望

欠席する

(いずれかに○をしてください)

【ご出席の場合】

関連発表(宇佐八幡と弥勒寺関することに限る)を

希望する

希望しない

(いずれかに○をしてください)

会員だより(例会の場で活動事例や催しの告知等発表)を

希望する

希望しない

(いずれかに○をしてください)

交流・懇親会について

参加する

参加しない

(いずれかに○をしてください)

会員名 : _____

会員番号 : _____ (分かれば)

(団体会員・特別会員の場合は参加者数)